

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフ Nico		
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025.11.6		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と小集団療育を実施しており、ニーズに合わせた支援が行えていると思います。	・個別療育では、その子に応じた必要な支援をそれぞれの職員が自分の得意を活かして支援しています。またその様子を記録として残し、職員間で共有することで切れ目のない支援を行っています。 ・様々な年齢の小集団療育を通じて、人との関わり方や適切な距離感、ルールの理解を深めていけるようにしています。	・保護者との情報交換をこまめに行い、その時に必要な支援が行えるよう、流動的に支援内容を見直しながら行っていけるようにしています。 ・小集団療育ならではの支援ができるように工夫をしていきたいです。
2	毎月、多種多様なイベントを開催することで、様々な体験を重ねる機会があることです。	季節や行事に合わせたものや、普段なかなかできない運動遊び、地域の施設を利用したもの、他事業所との合同で行うものなど、様々な体験ができる機会を作っています。	いくつかは毎年恒例のイベントを作ることで、職員のイベント企画への負担を軽減していきたいです。また参加者が固定されない工夫も行うことで、楽しく参加できる機会を増やしていきたいです。
3	保護者同士の関わりや悩みを相談できる環境がある。	集団療育の時間に、同時間帯利用の保護者同士で話ができる環境を作っています。また時間を作ってお話を聞ける時間を作っています。	定期的に話を聞ける時間や悩みを相談できる機会(ペアトレも含む)を作りたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育がメインのため、一人一人に合わせたプログラムの形成を毎回行わなくてはならないので、スタッフの負担が大きいと思います。	基本のプログラムがなく、スタッフ本人が考えて行わなくてはならないので、その辺りが経験や実力によって左右されやすいかもしれません。	新人スタッフについては、既存のスタッフがそばについて支援の準備やプログラムの構成を一緒に行えるようにしています。また療育内容の一覧表を作ったり、教材のベースを作ったりして、プログラムを構成しやすい環境整備をしています。
2	個別療育がメインのため、同時間に預かれるお子様の数が限られています。	スタッフの人数や部屋の構造的に同時間に預かれるお子様が限られています。	週2回以上の利用の方には、集団療育をお願いしたり、広い部屋で複数の個別療育が行えるような工夫をしたりして、同時間帯での預かり人数を増やせるようにしていきます。
3	窓がないため、換気が難しいです。(現在はお客様のいない時間帯に表と裏の出入口を開放して換気をしている)	建物の構造上、窓がないため換気扇や空気清浄機での換気になっています。	空気清浄機や換気扇をこまめに掃除し、しっかりと換気ができる状態にしています。またお客様のいない時間帯に、出入口を開放して換気をするようにします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ワンライフ Nico
------	------------

公表日 2025.12.1

利用児童数 19

回収数 17

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	1	0	子ども人数が多くなった時には少し狭い と思います。	同時間の利用者を調整するようにします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2	0	0	可もなく不可もなく。	皆様が安心して支援を受けられるよう、適切な人数 の配置を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	0	0		療育室はお子様の集中が切れないよう、整理整頓を 心掛けています。また事業所前にスロープもあり、 車いすやベビーカーも利用しやすくなっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0	どの部屋もすっきりしていて活動しやす い。	毎日アルコール消毒を行い、清潔な状態で支 援を行えるようにしています。今後も良い環 境作りを心掛けていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	14	1	0	2	同じ内容でもその子によって工夫して本 人のやりやすくしてくれる。	一人一人の特性や能力に応じて内容を構 成しています。今後も専門性を生かした 支援を心掛けていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	14	2	0	1		公表している支援プログラムに加え、お子 さまの特性に応じ、その時に必要な支援を取り 入れるようにしています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	17	0	0	0		お子さまの課題について、直接または支援ス タッフの通訳を通して丁寧な聞き取りをし、 適切な支援計画の作成に努めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	16	0	0	1		個別支援計画には具体的な支援や取り組みに ついて反映するように心掛けております。ま た支援に押し出さないよう、支援計画を元に 支援の内容を組み立てております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1	息子にとってとても良い関係(支援)を 行ってくれていると思います。	支援計画を元に支援内容を組み立てておりま す。またお子様の様子からその都度適切な関わりや援助が できるよう意識して取り組んでおります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	11	2	1	3	夏休みの宿題、キャンプなど意見を聞い て実行が早いことに驚きました。	お子さまに必要な支援として、保護者様からの意見や要望 については可能な限り、柔軟に対応できるよう努めてお ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	17	0	0	0		法人内ではありませんが、他事業所との合同活動イ ベントを開催し、事業所外のお子様との交流の場を設 けております。今後は地域のお子様との交流の場 についても検討していきたいと思っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0	・内容が変わった時は毎回丁寧な説明がありま す。 ・理解できるまで嫌々顔せず何度も説明してくれ て嬉しかったです。	契約時には、ご不明点も含め、丁寧な説 明を心掛けております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	16	1	0	0		支援計画書の内容については、わかりやすい内容 で、丁寧な説明を心掛けております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	7	3	1	6		10月にペアレントトレーニングを開催いたしました。今後も保 護者同士での関わりや情報交換の場を設けたいと思 います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていますか。	16	1	0	0	よくできている。	療育後のフィードバックを丁寧に行っています。言葉に限 らず、取り組みプリントや作品をお見せすることで、支援 内容についての共通理解を行っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	1	1	一緒に考えてくれる。アドバイスもくれ ます。	可能な限り保護者様との時間を作り、お話を伺える ようにしています。また保護者様同士の繋がりを作 ることで、悩みを相談しやすい環境を作っていま す。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0		お子さまだけでなく、保護者様の思いや 考えを尊重した支援を心掛けておりま す。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5	0	4		保護者同士の関わりの場を作れるようにして います。またきょうだいも含めたイベントの 開催により、きょうだい同士の関わりの場や 支援を行えるような機会を設けています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	3	対応は早いです。すぐ動いてくれます。	ご相談いただいたことに関しては、できる限り早い対応を心掛けております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2	0	0		多言語での相談を受け付けられるよう、通訳のできるスタッフを配置しております。また翻訳アプリを使ってのコミュニケーションを努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	1	0	チェックしています。やったことない活動が見れて参考にもなる。	定期的なSNS(主にInstagram)の更新をはじめ、保護者様との連絡手段としてSNSを積極的に活用しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1	されている。	個人情報の取り扱いについては、十分留意して行っております。特にSNSに使用する際には、同意を頂いた上で掲載するようにしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	1		月に一回、避難訓練を行っており、事業所内にマニュアルは存在しますが、まだ参加できていない利用者もお見えになります。今後は全員が参加し、周知できる訓練の開催を計画していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	2	4		定期的に行っておりますが、全利用者が参加されたことがなく、周知ができておりません。今後は全員が参加できる訓練を開催し、周知を目指していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	1	3		お子さまと一緒に避難訓練を開催しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2	2	3		怪我等の対応については、必ず保護者への連絡・説明を行っております。また社内でヒヤリハット・事故報告を行っており、再発防止に努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2	0	0	・気持ちも落ち着いてて今日は〇〇するかなあと話している時もある。	安心して通うことができるような事業所運営を心掛けてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	0	0	・はい、彼は二コに来ることが好きです。 ・楽しい活動があった時には、家族にそのことを話している。	お子さまが楽しく通える雰囲気や支援を今後も行っていけるよう、努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	3	0	0	・もう少しフィードバックをちゃんとしてほしい。子どもの様子を伝えてくれるだけなので。 ・親子で満足しています！	お子さまが事業所から帰る際に笑顔で帰ることを念頭に置き、支援を行っています。今後はお子さまの様子に限らず、保護者様のお悩みや雑談も含めて、家族支援を行えるようにしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンライフ Nico		公表日		2025.12.1	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		イベント開催時は一時的に多くなってしまったため、開催場所を別で検討したり、時間を分けて開催したりしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	あるときないとき。	職員のミーティングの際に業務内容の確認や一人一人の仕事量の把握を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	わかりません。	前年度は開所してでまだ行ったことがありませんでした。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		毎月法人内で研修を行っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		全員が把握し、支援計画に基づいた支援を行えるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	スタッフそれぞれが自分の得意や柔軟なアイディアを出して活かしてできていると思う。	今後も固定化されないように心がけていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	時間が許す限り。	お子さまの情報は適宜共有しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5	1	・時間が許す限り。 ・支援の後ではなく、別の時間スタッフとコミュニケーション取る。	お子さまの情報は適宜共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	送迎はしていません。年間計画は各学校のHPから印刷し、把握しています。	送迎がないため、直接学校とのやりとりはしていません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	まだ経験がありません。	まだ経験はありませんが、児発から放デイへ移行した際には学校への引継ぎを行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		法人内の他事業所と一緒に活動することはありますが、まだ地域のお子様との関わりはありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	・わからない。 ・児発管のみ参加	定期的に行われているものに代表で児発管のみ参加しています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・ペアトレはできていないが、相談支援や親子参加企画を実施しています。 ・親子企画への参加はあり。	家族で参加できるものを増やし、家族支援を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	2	親子イベントいつも行っています。	集団療育の際に、保護者同士での関われる場を設けています。またイベント開催時には、保護者と一緒に参加できる内容を企画しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		定期的にInstagramの更新をしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		特に写真の使用については、保護者から細かく聞き取りをし、管理しています。また個人携帯ではなく事業所携帯で撮影するようにしています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・会社としては行っている。 ・今まで見たことない。	多文化共生フェスティバルに参加し、地域の方々との関わりの機会を設けています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		契約時にアレルギーの有無を確認し、一覧を作って職員全員が確認できるようにしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		ヒヤリハットだと思った案件に関しては、内容を共有し、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		法人内で研修を受けています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		契約時にお伝えして、同意を得ています。	